

■沼尻墨僊 庶民学者。孝養を尽くし、民衆のために献身しながら、創案した地球儀を製作するなど多才ぶりを発揮。

ぬまじりぼくせん
黄表紙始・1775=

常陸国土浦田宿で、商家五香屋の養女みゑに婿入りした中村治助の末子五男に生まれ、すぐに、かねてより約束あった町医沼尻石牛の養嗣子となる。

源内獄中死・1779= 4歳：養父に教えられて育ち、養母に連れられ筑波山を参詣した際、早くも「仁王図」を描いて周囲を驚かすなど、
幼時から神童ぶりを発揮、
・・・・・・1781= 6歳：この頃、名主入江善兵衛の援助や便宜を得て、土浦藩士太田天錫に入門、読書を学び、

意知刺殺事件1784= 9歳：

田沼意次失脚1786=11歳：この頃、藩儒広瀬克斎に師事する一方、従兄の沼尻修平(陸其章)に書を学ぶ。
1787=12歳：「文武二道万石通」の絵本を模写し、神業と賞賛される。

松平定信引退1793=18歳：「日本帝王世系」を筆写、
水利土木技術など多方面にわたる勉学・研究に努め、

プロトト来航・1796=21歳：この頃、土浦城下中城町の神社に、塾を開く一方、養母を助けて、発病した養父を看病、
昌平饗始・1797=22歳：干ばつに、土浦城下中城町で突抜井戸が多数掘られるのを観察。谷文晁にも指導を受ける。
古事記伝・1798=23歳：この頃、結婚。孝養に対し、名主入江善兵衛らの推挙で、藩から褒賞。詳細な画幅「鑿井図」を描く。
1799=24歳：長男甚兵衛が誕生。「寛政十二年曆」を作成するなど、早くから天文地理学にも興味関心を持ち、
伊能測量始・1800=25歳：*舟底形紙片を12枚傘骨式の竹骨に張った折りたたみ傘式の「大輿地球儀」や「渾天儀」を作製し、「地球万国図説」を著して、教材とするが、藩士からも忠告されて、外部には秘蔵、
膝栗毛始・1802=27歳：「沼尻石牛墓誌」。養父が死去した後も、養母に孝行し続け、
アメリカ船来航始1803=28歳：私塾(天章堂)を本格化、入門帳の記載が始まる。
いざり来航・1804=29歳：次男慎二郎が誕生。

この間、神龍寺二十世禪師で一流の学僧如蓮や色川三中ら、多くの好学の士と懇意になる。
また、森島中良「紅毛雑話」をもとにエレキテルを製作、

いざり船狼藉・1807=32歳：「土浦往来」を著す。
間宮海峡発見1808=33歳：長女が誕生するも夭折。
浮世風呂・1809=34歳：一時病臥。ユニークな漢詩作品「筑波山形蔵頭蔵尾之詩」。
・・・・・・1810=35歳：次女が誕生。

ゴロウソウ拿捕 1811=36歳：
高田屋拿捕 1812=37歳：*渾天儀を用いて天体観測を行い、詳しい記録「測驗草」を開始、

黒住教・1814=39歳：実父が死去。再び、孝養によって、藩主にお目通りの栄に浴し、高橋景保の「総合全図」を模写して、
・・・・・・1815=40歳：画幅「菅原道真図」。皆既月食を観測。藩主に献上。
この間、発明者広瀬周伯に問い合わせ、人気感動機を製作。書道と絵画にも秀でて、多くの人たちの依頼に応じて創作し、漢詩文・和歌・俳諧・狂歌など、文芸にも優れた作品を残すなど、多才ぶりを発揮、

水野忠成老中1818=43歳：
群書類従完結1819=44歳：養母も死去、「沼尻石牛夫人墓誌」。
・・・・・・1820=45歳：木星が月の後ろを通過するのを観測。
伊能図完成・1821=46歳：次女が死去。「土浦百韻歌」。「彝齋雜記」始める。長久保赤水「大清広輿図」を模写。

いざり朴来日・1823=48歳：長男が死去。藩医稲葉宗軒の墓誌作成。

異国船打払令1825=50歳：彗星を観測。

日本外史・1827=52歳：「弊箚録」成る。

いざり朴追放・1829=54歳：山村才助「訂正増訳采覧異言」を筆写。

富嶽三十六景1831=56歳：妻須美が死去。
鼠小僧磔・1832=57歳：「土浦山車図譜」。「新訂万国輿地全図」を模写。
天保大飢饉始1833=58歳：天文記録「測驗草」終わる。
高島砲術・1834=59歳：月食観測記録。
次男を墨潭と名乗らせて後継ぎとし、自らは塾での教育に一層専念、

大塩平八郎乱1837=62歳：教育功勞に対して、藩から御給米5俵。
適塾オープン・1838=63歳：月食観測記録。神龍寺本堂に「天井画(龍)」を描く。

勅進帳初演・1840=65歳：「高安良斎墓誌」。「鐘馗図」。
天保改革始・1841=66歳：書画幅「四つの宝」。

順天堂始・1843=68歳：真浄寺に「浄月律師墓誌」。彗星観測。
天保改革終・1844=69歳：不動尊に「算額」奉納。*客星(火星)観測。ついに帯刀御免となり、
阿部正弘首座1845=70歳：親友川田幸枝の勧めと案内で、伊勢参りを兼ねて関西旅行、優れた旅行記「西杖日記」を残す。
孝明天皇・1846=71歳：画幅「大黒天図」。書幅「似蘭斯馨・・・・」。
・・・・・・1847=72歳：書幅「其図」、以後、篆書傑作多数。

北斎没・1849=74歳：書幅「竹翠浄琴書」。
国定忠治磔・1850=75歳：色川三中の撰文で「入江潔墓誌」。
尊徳報徳論・1851=76歳：書幅「鶴寿春」。常福寺の「百番観世音供養塔」。
万次郎帰国・1852=77歳：「土浦長編」。般若寺の「馬頭観世音碑」。書幅「陽気発処」「恭己每從儉・・・・」など。
ペリー来航・1853=78歳：書幅「神宮寺大般若派波羅蜜経記」。小松三夜尊の「霞浦八景」。19世紀中最も美しいといわれる彗星観測。
開国開港・1854=79歳：書幅「思無邪」「長生安楽・・・・」など。この年から、略暦を作成、死去後も墨潭が明治2年まで書き継ぐ。
安政大地震・1855=80歳：*長く秘蔵していた「大輿地球儀」を公開すべく許可を得るとともに、北斎の「富嶽百景」を彫った名刻師江川仙太郎の協力得て版木製作して地球儀にし、それが水戸藩士の手で前藩主徳川斉昭の閲覧に供して賞賛され、諸大名や同好者の注文に応じ、翌年にかけて、渾天儀とともに多数製作し、好評を得たが、
松下村塾・1856=81歳：生涯の和歌など集成「墨僊詠草」、画幅「大黒天図」。書幅「福祿寿」「梅花隔水・・・・」など。*没した。

青木光行「沼尻墨僊」、「人づくり風土記(茨城)」、